### 職業実践専門課程等の基本情報について

		pΧI	置認可年月		校長:	名			所在地	,		
北九州情報ITクリエ	ニイター専	숙	和5年3月2	н	三好 -	— <del></del>		802-0002 福岡県北九州市小1	●北区京町3-9-20			
門学校						·		093-551-0820				
設置者名		設立	立認可年月	日	代表者	首名	Ŧ	101-0065	所在地			
学校法人大原	学園	昭和	和54年4月	1日	中本 4	毎彦	(住所)	東京都千代田区西神	伸田1丁目1番3号			
分野		忍定課程名	ζ	1201	定学科名			03-6261-7717 門士認定年度	高度専門士認	定在度	職業宝践	専門課程認定年度
工業		業専門課			T2年制学	:科		5(2023)年度	IBJ又 <del>以</del>   J 工 IID	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		6(2024)年度
								的知識習得を基に、広	- 第45年間世帯を息に	- <i>1</i> +1+ Z L L+	l	
学科の目的	を通じ、エン	ンジニアとし	ての能力及	び資質の向上	上を図ること	を教育目的	」とする。この	的知識自特を基に、仏 D目的に基づき、専門に 秀な人材を養成する。				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	会に通用す	「るコミュニ・	ケーションナ		<b>折クラウド技</b>	術の「AWS	」を専門的に	ブ中心に学習を積み重 に学習(就職後に活か† 等。				
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単位	な総授業時数. 対数	又は総	講義	Ė.	演習	実習	実	験	実技
2 年	昼間	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	1,710 単位 単位			単位時間単位	480 単位時間	1,500 単位時間 単位	0	単位時間単位	O 単位時間 単位
生徒総定員	生徒爭	<b></b> 員(A)	留学生	数(生徒実員の内数	数)(B)	留学生割食	合(B/A)	中退率			l.	
70 人	78	人		0 人		0	%	3 %				
	■卒業者		:		29		人		<u>.</u>			
	■就職希 ■就職者	望者数(D) 数 (F)	) :		7		<del></del>					
		<del>奴(L)</del> 職者数(F)	)		3		<del>\( \)</del>					
	■就職率	(E/D)		±1 * '- '	100		%					
	■就職者	に占める地	元就職者の	割合 (F/E)	43		%					
	■卒業者(	こ占める就具	職者の割合	(E/C)	70		/0					
				· ·	24		%					
就職等の状況	■進学者 ■その他	釵			22		Д					
	_ (0)											
	就職希望	者以外の泊	進路:22名	(進学)								
	1.4.4		午 座 ☆ ※ ※	に関する令和7	7年5月15	口時占の棒ギ	R)					
	(令和 <b>■ ± た</b> お)	6 職先、業界		に関りる守和7	· 平5月1片	ロ时息の情報	K)					
	● 土 ひ 税 リ		· 守									
			t 立いリュー	-ションズ コス	スミックビジ	ジネス(株) (村	¥テクノプロ	1 テクノプロ・エンジ:	ニアリング社 (株)Pa	lestar—ID	等の情報の	l理業界(プログラマ
			アとして就		,	1 - (14)	.,,,,,,,	,,,,,,			1, 07 IN TAX	
			等から第三					無				
第三者による	※有の場合	、例えは以下	下について任	<b>意記載</b>								
学校評価		評価団体:			ā	受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
1								41	-A-V-JUKL			
当該学科の ホームページ	https://w	www.o=boro	ao in /conr	non/school/ki	itakanaan i	it/oouroo/						
URL	iiccps.//w	www.o nara	.ac.jp/ sem	iloli/ School/ Ki								
					arcanty aby a_i	it/ Course/	jouhou/					
	(A:単位	時間による	る算定)		ricarry aby a_r	it/ Course/	jouhou/					
	(A : 単位	時間による				it/ course/	jouhou/			1 710	) 単位時間	
	(A : 単位	時間による総授業時数	女	「レ海椎」 七宝							単位時間	
	(A:単位		女 うち企業等	と連携した実	験・実習・	実技の授業				300	単位時間	
	(A:単位		女 うち企業等 うち企業等	と連携した演	験・実習・	実技の授業				300	単位時間	
	(A:単位		女 うち企業等	と連携した演	験・実習・	実技の授業				300	単位時間	
	(A:単位		女 うち企業等 うち企業等	と連携した演	験・実習・ 習の授業時	実技の授業 特数	<b>美時数</b>	5の授業時数		300 0 300	単位時間	
	(A:単位		女 うち企業等 うち企業等	と連携した演	服・実習・ 習の授業時 連携した必	実技の授業 特数 ・ 修の実験・	実習・実技	5の授業時数		300 0 300 300	単位時間	
企業等 L 這惟 L +-	(A : 単位		な うち企業等 うち企業等 うち必修授	と連携した演 業時数 うち企業等と	:験・実習・ 習の授業時 連携した必 連携した必	実技の授業 特数 ・ 修の実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	集時数 実習・実技 授業時数	5の授業時数		300 0 300 300 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位		な うち企業等 うち企業等 うち必修授	と連携した演業時数 うち企業等と うち企業等と	:験・実習・ 習の授業時 連携した必 連携した必	実技の授業 特数 ・ 修の実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	集時数 実習・実技 授業時数	5の授業時数		300 0 300 300 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	と連携した演業時数 うち企業等と うち企業等と	:験・実習・ 習の授業時 連携した必 連携した必	実技の授業 特数 ・ 修の実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	集時数 実習・実技 授業時数	女の授業時数		300 0 300 300 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	と連携した演業時数 うち企業等と うち企業等と	:験・実習・ 習の授業時 連携した必 連携した必	実技の授業 特数 ・ 修の実験・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	集時数 実習・実技 授業時数	6の授業時数		300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち必修授 (うち企業	と連携した演 連業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した	験・実習・ 習の授業時 連携した必 連携した必	実技の授業 等数 ・修の実験・ ・修の演習の ・シップの授	実習・実打 授業時数 授業時数)	女の授業時数		300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業 章定)	と連携した演 業時数 うち企業等と; うち企業等と 等と連携した	験・実習・ 習の授業時 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数 授業時数)	女の授業時数		300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とう うち企業等と 等と連携した	験・実習・ 習の授業時 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数 授業時数)	5の授業時数		300 300 300 0 0	)単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業 章定)	と連携した演 業時数 うち企業等とう うち企業等と 等と連携した	験・実習・ 習の授業時 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実習・実打 授業時数 授業時数)	なの授業時数		300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とう うち企業等と 等と連携した	実習・実習・ 連携した必 連携した必 インターン は 験・実習・ 習の単位数	実技の授業 等数 ・修の実験・ ・ 修の実験・ ・ をの演習の ・ シップの 持 ・ 実技の単位 な	実習・実お 実習・実お 授業時数 受業時数) 立数			300 300 300 0 0	)単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間 )単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とう うち企業等と 等と連携した を連携した実 と連携した演	実際・実習・ 連携した必 連携した必 インターン は 験・実習・ 連携した必 連 禁した必 を で で で で で き で を り で り で り で り で り で り で り を り り り り	実技の授業 等数 ・修の実験・ ・修の実験・ 実技の単位 な	実習・実 技 授業時数 受業時数) 立数 実習・実			300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とさ うち企業等と 等と連携した と連携した実 と連携した演 位数 うち企業等と	実際・実習・ 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 等数 修の実験・ 修の実験・ 実技の単位 な 修の実験・ 修の実験・ 修の実験・	実習・実打授業時数) 支票 ・実打 が			300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とさ うち企業等とを 等と連携した と連携した演 位数 うち企業等とさ うち企業等とさ	実際・実習・ 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 等数 修の実験・ 修の実験・ 実技の単位 な 修の実験・ 修の実験・ 修の実験・	実習・実打授業時数) 支票 ・実打 が			300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 章定) うち企業等 うち企業等 うち企業等	と連携した演 業時数 うち企業等とさ うち企業等とを 等と連携した と連携した演 位数 うち企業等とさ うち企業等とさ	実際・実習・ 連携した必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実技の授業 等数 修の実験・ 修の実験・ 実技の単位 な 修の実験・ 修の実験・ 修の実験・	実習・実打授業時数) 支票 ・実打 が			300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数数による多総単位数	文 うち企業等 うち企業等 (うち企業 (うち企業 (うち企業等 (うち企業等 (うち企業等)	と連携した演業時数 うち企業等と。 うち企業等と。 等と連携した なと連携した実 は位数 うち企業等と。 うち企業等と。 うち企業等と。 うち企業等と。 等と連携した	譲・実習・ 選の授業時 連携した必 インターン 譲、実習・ 実習の単位数 連携した必 ・ 実者を 連携した必 ・ は は は と の は り に り に り し れ し り し れ し れ り し れ し れ り と り と れ り と れ と れ と れ と れ と れ と れ と	実技の授業 特数 修の実験・ 修の実験・ 実技の単位 な 、修の実験・ の演習の が の演習の が な	実習・実打授業時数) 支票 ・実打 が			300 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 数による多 総単位数 での での での	文 うち企業等 すうち企業等 すっち かかり うちかか を すっち かかり うちかん できまる かいり うちかん できまる かいり	と連携した演 業時数 うち企業等とと うち企業等とと 等と連携した と連携した実 は位数 うち企業等とは 等と連携した で るを企業等とは で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 授業時数) 立数 実習・実打 単位数 単位数)		順第(号)	300 0 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 数による多 総単位数 での での での	女 うち企業等等 うち必修授 (うち必 (うち企業等等 うち必必 (うちを業等を うち必必 (うちをの の の の を の の を に に に に に に に に に に に に に	と連携した演 業時数 うち企業等と; うち企業等と; 等と連携した と連携した実 位数 うち企業等と; うち企業等と; 等と連携した	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 授業時数) 立数 実習・実打 単位数 単位数)	での単位数	真第1号)	300 0 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 数による る の担 等 当 す の 担 を う す を う す そ う の も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	女 うち企業等等 うち必修授 (うち必 (うち企業等等 うち必必 (うちを業等を うち必必 (うちをの の の の を の の を に に に に に に に に に に に に に	と連携した演 業時数 うち企業等とと うち企業等とと 等と連携した と連携した実 は位数 うち企業等とは 等と連携した で るを企業等とは で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 授業時数) 立数 実習・実打 単位数 単位数)	での単位数	質第1号)	300 0 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 る数による数 による数 のの修学するな。 のの修学するな。	女 うち企業等等 うち必修授 (うち必 (うち企業等等 うち必必 (うちを業等する うち必必 (うちを でする。 (うちを のの有当に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	と連携した演業時数 うち企業等とと うち企業等とと うち企業等とと を連携したた と連携したた実演 とと連携したた実演 とと連携したた実演 とと連携したた実演 ととを強等とと とを変勢した	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実材 授業時数) 立数 実習・実材 単位数 単位数)	での単位数		3000 0 3000 3000 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		総授業時数 数による 数による の事理が の事の の事の の事の のの事で ののよう のので ののした。 のので ののした。 のので ののした。 のので ののした。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 の。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 ののし。 の。 のの。 の	女 うち企業等 持 (うち企業等 持 (うち企業等 ) うち企業等 (うち企業等 ) うち必修 (うち企業 業 等 単 年 ) なの (うち企 ま ) でいる (うち企 ま ) でいる (うちを ) でいる (うを ) でいる (うを ) でいる (うちを ) でいる (うを ) でいる	と連携した演 業時数 うち企業等と; うち企業等と; 等と連携した にと連携した実演 のもの企業等と; をと連携した実演 をと連携した実演 をと連携した実演 をと連携した実演 をと連携したと変 をときと。 をと連携した をときと をときる。 をとを を を を を を を を を を を を を を を を を を	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 授業時数) 2数 主位数 2位数) (専修学	をの単位数 大設置基準第41条第1項	頁第2号)	300 0 300 300 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 数による多 数による多 の の の の の の の と 士 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	文 うち企業等等 (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うち企業等) (うちを) (うち	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 学業時数) 変素時数) 変素的数) 変素的数) 変素的数) (専修学 (専修学	なの単位数 校設置基準第41条第13 校設置基準第41条第13 校設置基準第41条第13	頁第2号) 頁第3号)	300 0 300 300 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中華 単単位 中華 単単位 中華 単単位 中華	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記		総授業時数 数による るる のの以上 士 で 等すり でのの以上 学 高 等 士 の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文 うち企業等等 (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等等を) うちの (うちなどを) (うなどを) (などを) (な	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 対数 実習・実打 対数 変素時数) 変素的数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号)	300 0 300 300 0 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単位 中単位 中単位 中単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 数による多 数による多 の の の の の の の と 士 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	文 うち企業等等 (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等等を) うちの (うちなどを) (うなどを) (などを) (な	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 対数 実習・実打 対数 変素時数) 変素的数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	なの単位数 校設置基準第41条第13 校設置基準第41条第13 校設置基準第41条第13	頁第2号) 頁第3号)	300 0 300 300 0 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中華 単単位 中華 単単位 中華 単単位 中華	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を動員の属性(専任 教員について記		総授業時数 数 による数 (こよ数 (本) のの修上 士 守 等 本 の 他 (多) そ の 他	文 うち企業等等 (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等等を) うちの (うちなどを) (うなどを) (などを) (な	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 対数 実習・実打 対数 変素時数) 変素的数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号)	300 300 300 0 0 0 1	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を動員の属性(専任 教員について記		総授業時数 数による るる のの以上 士 で 等すり でのの以上 学 高 等 士 の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	文 うち企業等等 (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等等を) うちの (うちなどを) (うなどを) (などを) (な	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 対数 実習・実打 対数 変素時数) 変素的数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号)	300 300 300 0 0 0 1	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単単位 中単位 中単位 中単位 中単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を動していて記		総授業時数 数 による数 (こよ数 (本) のの修上 士 守 等 本 の 他 (多) そ の 他	文 うち企業等等 (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等を) うちの (うち企業等等等を) うちの (うちなどを) (うなどを) (などを) (な	と連携した演 業時数 うち企業等と うち企業等と 等と連携した をと連携した をと連携した演 位数 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	実際・実習・ 連携した必必・ 連携した必必・ は験・実習・ 要連携した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は様した必必・ は後のである。	実技の授業 等数 修の実験・ をの実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な を修の実験・ な で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	実習・実打 対数 実習・実打 対数 変素時数) 変素的数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) 変素が数) (専修学 (専修学 (専修学 (専修学	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第2号) 頁第3号)	300 300 300 0 0 0 1	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を動していて記		総授業時数 数によ数 によ数 (1) 専担位数 (1) 専力の修上 士 士 等 ウ (4) を の他 計	文 うち企業等 投	と連携した演業時数 うち企業等とう きと連携した演奏 きょうち企業等とう きと連携した 実際 した と 連携 した 実際 と を と 連携 した 実際 と と 連携 した を 実際 した を な 業 を を を を を を を を を を を を を を を を を	験・実習・ 連携した必必・ 実単したののである。 実単したののである。 実単したののである。 実単したののである。 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	実技の授業 特数 修修の実験・習の接続を できません 一次 できません 一次 できません できません できません できまい では かい には いっぱい にいっぱい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい に	実 と 実	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	項第2号) 頁第3号) 頁第4号)	300 300 300 0 0 0 1	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 数による数 (このの以上 学高 等土の他 (1) を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	文 うち企業等等 (うち企業等等 (うちを企業等等 (うちを企業等等 (うちを必ず (うちをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()	と連携した演 楽時数 うち企業等とは うち企業等とは きと連携した とと連携した とと連携した とと連携した実演 とと連携した大演 とと連携した大演 とと連携した大演 とと連携した大演 とと連携した大演 とと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大演 をと連携した大変 ををと連携した できる者等 を修した事した。 を修りた事した。 を修りた事した。 を修りた事した。 を修りた事した。 を修りた事した。 を修りた。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	験・実習・実習・実習・実際・実習・実際・実習・実際・実習・実際・実際・実際・実際・実施を表現した。 実施 はいい はい	実技の授業 特数 修修の実験・習の接続を できません 一次 できません 一次 できません できません できません できまい では かい には いっぱい にいっぱい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい に	実 と 実	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	項第2号) 頁第3号) 頁第4号)	300 300 300 0 0 0 1 1 0 0 2	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 人 人 人	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 数による数 (このの以上 学高 等土の他 (1) を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	文 うち企業等等 (うち企業等等 (うちを企業等等 (うちを企業等等 (うちを必ず (うちをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど (うをなど ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()をな ()	と連携した演業時数 うち企業等とう きと連携した演奏 きょうち企業等とう きと連携した 実際 した と 連携 した 実際 と を と 連携 した 実際 と と 連携 した を 実際 した を な 業 を を を を を を を を を を を を を を を を を	験・実習・実習・実習・実際・実習・実際・実習・実際・実習・実際・実際・実際・実際・実施を表現した。 実施 はいい はい	実技の授業 特数 修修の実験・習の接続を できません 一次 できません 一次 できません できません できません できまい では かい には いっぱい にいっぱい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいっぱい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい にいい に	実 と 実	校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	項第2号) 頁第3号) 頁第4号)	300 300 300 0 0 0 1 1 0 0 2	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先であるIT業界と連携して教育課程の編成を行なうことにより、専門的な知識を修得した即戦力となる 人材を育成する。
- ②IT分野における学修の中心となるプログラミングの知識に加え、開発現場で必要とされるスキルへの理解やコミュニケーションカの向上などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて意見を伺い、授業カリキュラムへの反映を毎年検討する。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践修得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに 各共通の組織を設置する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(教務課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして、本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
  - (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
  - (イ)委員会では企業等からの意見を参考に、次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長・教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目・内容・手法)の編成に反映させることができる。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現**在** 

名 前	所 属	任期	種別								
糸川 郁己	公益財団法人北九州産業学術推進機構 ロボット・DX推進センター マネージャー	令和6年4月1日~令和8年3月31日(2年)	1								
三宅 康夫	株式会社ラック コンサルティング統括部 アカウントコンサルティングサービス部 シニアコンサルタント	令和6年4月1日~令和8年3 月31日(2年)	3								
三好 一哉	本校 校長										
伊原 崇	本校 教務部 次長		_								
本田 忠	本校 教務部 課長補佐		_								
中村 達朗	本校 教務部 教員		_								

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月6日 16:00~16:50

第2回 令和6年12月17日 16:00~16:50

第1回 令和7年8月6日 16:00~16:50

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- (1)コミュニケーションスキル向上に向けた取り組みについて

学生の対人能力やチーム内での役割理解を促進するための取り組みについて意見交換を行った。委員より、「技術力だけでなく、対話力や協調性は社会で求められる重要なスキルであり、教育課程に積極的に取り入れるべきである」との意見があった。校内での検討を経て、基礎的なコミュニケーション理論の講義は限定的に実施し、グループワークやプレゼンテーション、ディスカッションなど、実践的な活動を通じてスキル向上を図る方針とした。これにより、学生が自らの考えを的確に伝え、他者と協働する力を養うことを目指す。また、その一環として、コミュニケーションの基本技術(傾聴・要約・フィードバックなど)に関する簡易講義も導入する。

②総合開発演習の教育強化について

制作課題を通じた実践的な開発力の育成について意見交換を行った。委員より、「企業ニーズや社会課題を意識した開発は、学生にとって実務的な経験となるが、テーマ設定には慎重さが求められる」との意見があった。昨年度の演習では、テーマに対する共感不足や技術的な難易度の高さから、チーム内の分裂や完成度の低下が見られた。これらを踏まえ、今年度は制作テーマの選定において、学生の興味関心や技術レベルを考慮し、段階的な指導を行う方針とした。また、制作プロセスにおける教員からの定期的なフィードバックを導入し、成果物だけでなく過程も評価対象とすることで、学習効果の向上を図る。

さらに、地元企業への就職志望者やAI技術の活用状況についても報告があり、委員からは「学生の強みを明確にするためには、専門分野を絞った教育が有効である」との意見があった。AIの活用については、システムへの組み込みを前提とした学習は推奨されるが、AI自体の開発は専門性が高いため、全員に強制するべきではないとの見解も示された。今後も企業や行政との連携を通じて、求められる技術や人材像の調査を継続し、教育内容の最適化を図る方針である。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①関連施設と連携し、該当施設において、現場担当者より直接指導を受ける。
- ②関連企業との連携による実習を通じて、学生のより実践的な知識・思考・技術修得と、社会人としての意識改革、専門職 として意識改革を実現する。
- ③関連企業との連携による実習授業を通じて、現場で通用するかどうかという観点から、関連企業担当者が学生の知識・技術の評価を行う。評価内容は共有を行い、フィードバックすることで、適宜教育内容の改善を図る。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

プログラミング、システム開発演習、授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義 内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
卒業制作 I		システム開発における企画立案、 ユースケース図及びロバストネス 図の作成について学ぶ	合同会社インクリメントワン
卒業制作Ⅱ		システム開発におけるシーケンス 図とクラス図及びテーブル設計書 や画面レイアウトについて学ぶ	合同会社インクリメントワン
		システム開発におけるテスト仕様 書の作成及び実装について学ぶ	合同会社インクリメントワン

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために大原学園教員研修規定に基づき、計画的に下記のとおり教員研修の環境を整える。

- ①教員に対し学生に指導できるよう実践的な知識・指導スキル研修を身に付けさせる。
- ②学生が在学中に取得する資格について教員も講習を受講する。
- ③学外で実施される分野関連講習会を教員が受講する。
- ④指導力の修得に関する研修を受講する。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

エンジニア×地域共創」で進化するイノベーション都市・北

研修名: 九州市の挑戦と可能性【DX LEADERS SUMMIT in 連携企業等: 北九州市・TECH PLAY

TOKYO]

期間: 令和7年2月8日 対象: 教員1名

内容
地域のデジタル化推進とエンジニア育成に関する最新の事例や取り組みを学び、今後の教育指導に活か

<sup>台</sup> す知見を得た

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 仮説構築力向上研修 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和7年8月21日 対象: 代表者1名受講後、社

内容 仕事の精度とスピードを高める思考法を身に付ける

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: Amazon Q Developer を利用した生成 AI によるアプリ作成 連携企業等: AWS Academy Japan

期間: 今和7年10月7日 対象: 教員1名

内容 AI を利用したコード生成・補助機能による開発効率化や教育現場への応用可能性を学習

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: Z世代の育て方研修 連携企業等: 株式会社インソース

期間: 令和8年2月25日 対象: 代表者1名受講後、社

内容 新しい価値観に向き合う人材育成のあり方を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 (1)教育理念•日標 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 (2)学校運営 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされている か。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施さ (3)教育活動 れているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保して いるか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら れているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 (4)学修成果 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 (5)学生支援 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 8卒業生への支援体制はあるか。 ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて いるか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制 (6)教育環境 を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 ①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 (7)学生の受入れ募集 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。 ①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 (8)財務 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。

④財務情報公開の体制整備はできているか。

(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	①留学生の受入れ・派遣について、戦略を持って行い、在籍管理等に おいて、適切な手続き等が行われているか。 ②学修成果が国内外で評価される取り組みを行っているか。

※(10)及び(11)については任意記載。

学生一人一人の社会的、職業的自立を目指し、教員による介入を適切な支援となるよう、具体的方法を見直す。キャリア教育の一環として、実務家、法律家等による講演を追加実施する。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
富山 満	九州北部税理士会 小倉支部 総務委員	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	業界団体・ 学術機関
石井 孝治	広島総合社会保険労務士法人 代表	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委 員
橋田 歩	日本郵便株式会社 行橋大橋郵便局	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生
金崎 麻紀	日本診療情報管理学会員	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	業界団体・ 学術機関
黒水 雄太	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 医事課 課長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委 員
室井 由起子	九州栄養福祉大学 食物栄養学部 准教授	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	業界団体・ 学術機関
原澤 あゆみ	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 栄養科科長	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委 員
三宅 康夫	株式会社ラック コンサルティング統括部 アカウントコンサルティングサービス部 シニアコンサルタント	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

## (5<u>)学校関係者</u>評価結果の公表方法・公表時期

(ホームペーシ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: 公表時期: https://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/ 令和7年10月6日

<sup>(3)</sup>学校関係者評価結果の活用状況

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、関係業界、地域住民、保護者、教育機関関係者など関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携・協力の推進に資する観点から、積極的な情報提供に取り組む。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

27・中门子以に850の旧形近尺中、砂块幅に関するカイドライン」の項目との対心										
ガイドラインの項目	学校が設定する項目									
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革									
(2)各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③進級要件 ④卒業要件 ⑤称号付与⑥目									
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性									
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等									
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動									
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育									
	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等									
(8)学校の財務	学園の財務状況公開									
(9)学校評価	学校関係者評価結果									
(10)国際連携の状況	_									
(11)その他	_									

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

**((ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(**)

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 令和7年10月6日

公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

	#RE	F!														
		分類							授	業プ	方法	場	所	######		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0			I⊺キャリアデ ザイン I	就職活動に関する基礎知識について学ぶ	1 前	30	1		0		0		0		
2	0				就職活動における適性試験や面接試験の対 策	1 後	30	1		0		0		0		
3	0			IT基礎知識 I	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメン ト分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
4	0			IT基礎知識Ⅱ	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ	1 前	90	6		0		0		0		
5	0				Officeソフト(Word・Excel・PowerPoint) の操作方法について学ぶ	1 前	30	1			0	0		0		
6	0			HTML/CSS	HTMLとCSSを使ったホームページの作成につ いて学ぶ	1 前	30	1			0	0		0		
7	0			Python I	Pythonの基本構文とプログラムの実装につ いて学ぶ	1 前	90	3			0	0		0		
8	0			Python II	Pythonによるオブジェクト指向プログラミ ングを通してクラスの概念について学ぶ	1 通	60	2			0	0		0		
9	0			データベース I	リレーショナルデータベースの概要を学ぶ	1 通	30	1			0	0		0		
10	0			Pythonフレー ムワーク	Djangoを使用したサーバサイドアプリケー ションの仕組みについて学ぶ	1 後	120	4			0	0		0		
11	0			クラウド技術 I	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコ ンピューティングの実装方法について学ぶ	1 後	60	2			0	0		0		
12	0			Java	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログ ラミングについて学ぶ	1 後	90	0			0	0		0		

13	0				JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサイドプログラミングについて学ぶ	1 後	90	3		0	0	0	
14	0			データベース Ⅱ	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装について学ぶ	1 後	60	2		0	0	0	
15			0	資格取得講座 A	基本情報技術者試験 科目B試験に合格する ための学習をおこなう	1 通	60	2	0		0	0	
16			0	資格取得講座 B	AWS Certified Cloud Practitioner に合格 するための学習をおこなう	1 通	60	2	0		0	0	
17	0				就職活動における適性試験や面接試験の対 策	2 通	60	4	0		0	0	
18	0			オブジェクト 指向分析設計	ユースケース駆動設計によるオブジェクト 指向分析設計について学ぶ	2 通	90	3		0	0	0	
19	0			卒業制作I	システム開発における企画立案、ユース ケース図及びロバストネス図の作成につい て学ぶ		90	3		0	0	0	0
20	0			卒業制作Ⅱ	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウト について学ぶ		90	3		0	0	0	0
21	0			卒業制作Ⅲ	システム開発におけるテスト仕様書の作成 及び実装について学ぶ	2 後	120	4		0	0	0	0
22	0			Javaシステム 開発	Javaフレームワークを利用したシステム開 発演習	2 前	120	4		0	0	0	
23	0			JavaScript	JavaScriptを学び、動的なWebページを作成 する	2 前	60	2		0	0	0	
24	0				AWSのAIサービスを利用したプログラムの実 装方法について学ぶ	· 2 前	60	2		0	0	0	
25	0			先端クラウド システム開発 I	AIを活用したシステムに関して学ぶ	2 前	90	3		0	0	0	
26		0			IT業界の情報を収集し、社会人に必要なビジネスマナーについて学ぶ	2 通	30	2	0		0	0	
27		0			Go言語の基本文法、ネットワークプログラミング、GUIプログラミングについて学ぶ	2 前	60	2		0	0	0	

28		0	仮想化コンテ ナ技術	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ	2 後	60	人			0	0		0		
29		0	資格取得講座 C	LinuCレベル1(101試験、102試験)に合格 するための学習をおこなう	2 通	60	2		0		0		0		
30		0	資格取得講座 D	オラクル認定 Java Silver に合格するため の学習をおこなう	2 通	60	2		0		0		0		
31		0	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 後	30	1	0			0		0		
		合	<u></u>	31	科	·目			73 (	2100)	単位	<u>ф</u> (.	単位	時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
卒業要件:(修了・卒業の認定)	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法: (試験等)	1 学期の授業期間	22 週			

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。